

国立循環器病研究センターで急性大動脈解離の治療を受けられた、 患者さん・ご家族様へ 研究へのご協力をお願い

国立循環器病研究センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】

1997 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日までの間に、国立循環器病研究センターで急性大動脈解離と診断され手術もしくは入院加療を受けた方。

【研究課題名】

大動脈解離の診療実態及び予後に関する研究

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門 部長 松田 均

【研究の目的・意義】

現在、わが国における大動脈解離についての長期予後に関するデータが不十分な現状があります。そこで、国立循環器病研究センターで診療された患者さんを対象とし、個々の患者さんの特徴と治療方針を照らし合わせ、予後との関連についても検討を行います。

それにより、さらなる診療の質を高めることができると考えます。

【利用する診療情報】

大動脈解離を発症した時点を起点として下記項目を収集します。

- ① 基本データ：登録日(発症日)、急性大動脈解離の診断日、生年月日・年齢、性別、身長、体重、Body mass index (BMI)、Body surface area (BSA)、喫煙の有無(有の場合：現在/過去、本数、年数)、日常生活の動作能力(Barthel Index/FIM)、認定介護度、障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)、認知症高齢者の日常生活自立度を収集します。登録日から±6 か月以内で登録日に一番近いデータを収集します。

- ② 併存症有無:併存疾患名(高血圧症、脂質異常症、糖尿病、慢性腎臓病、慢性心不全、がん、脳梗塞、脳出血など)、入院中・外来における心リハの実施の有無を収集します。
- ③ 画像所見：入院時及び入院中の造影 CT 所見から大動脈解離の形態、臓器灌流障害の有無、大動脈径の経時的変化を収集します。退院後は発症から 3 か月時、6 か月時および 1 年毎の指標を同様に収集します。
- ④ イベント：発生日、全死亡およびその死因、心血管死、非心血管死、突然死、入院およびその理由、カテーテル治療および対象疾患、大動脈手術および対象疾患を収集します。

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【研究の実施体制】

この研究の実施体制は以下のとおりです。

研究責任者 国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門 部長 松田 均

【研究期間】

研究許可日より 2027 年 3 月 31 日まで（予定）

情報の利用を開始する予定日：2026 年 2 月 16 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター公式サイト(<https://www.ncvc.go.jp>)の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、研究機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門 医長 井上 陽介
電話：06-6170-1070（代表）